

Nikon

デジタルカメラ

KeyMission 170

使用説明書



スマートフォン/タブレットをお使いの方へ	ii
はじめに	iv
各部の名称	1
撮影の準備	2
カメラを使ってみよう	12
メニューを使う	23
資料	24

- 製品をお使いになる前に本書をよくお読みください。
- 「安全上のご注意」(viiiページ)、「<重要>耐衝撃性能、防水/防じん、結露について」(xiiページ)、および「無線通信機能についてのご注意」(24ページ)も必ずお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに保管してください。

SnapBridge



あなたの映像を、世界につなげよう

“SnapBridge”へ、ようこそ。ニコンの新たなサービスが、かつてない豊かな映像体験への扉を開きます。

BLE (Bluetooth® low energy) テクノロジーと専用アプリで、あなたのカメラとスマートフォン/タブレット端末を常時接続。

ニコンのカメラとレンズで特別な映像として刻まれたあなたの想いは、端末に自動転送され、クラウドストレージサービスに直接アップロード可能。もちろん、クラウド上の映像は、あなたがお持ちのさまざまな端末からもアクセスできます。

※ 水中では無線通信はできません。

豊かな映像体験へ。まずはアプリをダウンロード！

“SnapBridge”の多彩な機能を楽しむには、まず専用アプリ「SnapBridge 360/170」をお手持ちのスマートフォン/タブレット端末にダウンロードしてください。対応するiPhone®、iPad®、iPod touch®、またはAndroid™ 端末なら、簡単な手順でカメラと関係できます。専用アプリは、ウェブサイト (<http://snapbridge.nikon.com>) および Apple App Store® または Google Play™ から無料でダウンロード可能です。SnapBridge の最新情報については当社ホームページでご確認ください。



KeyMission 170 Model Name: N1531/ リモコンML-L6 Model Name: N1544

ii | スマートフォン/タブレットをお使いの方へ

映像体験をもっと便利に楽しく。“SnapBridge”なら...



常時接続により、撮影した映像をカメラからスマートフォン/タブレット端末に自動転送。映像のオンライン共有がこれまでよりも簡単に、ストレスなく行えます。
※動画の自動転送はできません。

NIKON IMAGE SPACE



撮影画像やサムネイル画像を、ニコンのクラウドストレージサービス「NIKON IMAGE SPACE」にアップロードできます。

映像体験を豊かにする各種サービス

○ カメラのリモート操作



○ 映像へのクレジット情報の写し込み
(撮影情報、撮影日時、任意テキスト、ロゴから最大2種類)



○ カメラの日時・位置情報の自動更新



○ ファームウェア更新案内の受け取り



SnapBridge 360/170の設定や使い方は6ページ以降をご覧ください。

はじめに

はじめにお読みください

このたびは、KeyMission 170をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ます。

「活用ガイド」のダウンロードについて

本製品の詳しい説明書「活用ガイド」(PDF形式)をさまざまな言語で用意しています。下記の当社ダウンロードセンターからスマートフォン/タブレットやパソコンなどに保存してご利用ください。

- Adobe Acrobat Reader (Adobeのウェブサイトからダウンロードできます) やiBooks (iOS用アプリ) でご覧いただけます。
- 冊子版 (有料) をご希望の場合は、カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

ニコンソフトウェアのダウンロードについて

●パソコン用

下記の当社ダウンロードセンターからダウンロードいただけます。

- KeyMission 360/170 Utility : 撮影した画像や動画のパソコンへの取り込み、閲覧、編集ができます。

●スマートフォン/タブレット用

- SnapBridge 360/170: 画像や動画をスマートフォンやタブレットへ転送できます。ダウンロード方法などは、iiページをご覧ください。

ダウンロードセンターのご案内

<http://downloadcenter.nikonimglib.com>

当社映像関連製品の説明書、パソコン用ソフトウェア、ファームウェアをダウンロードできます。



箱の中身を確認する

万一、不足のものがありましたら、ご購入店にご連絡ください。



- KeyMission 170
カメラ本体



- Li-ionリチャージ
ャブルバッテリー
EN-EL12



- 本体充電ACアダプ
ター EH-73P



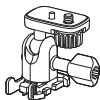
- USBケーブル
UC-E21



- リモコンML-L6



- リモコン用電池
(3V CR2032型リ
チウム電池)



- ベースアダプ
ター AA-1B



- ベースマウント
(平面) AA-2



- ベースマウント
(曲面) AA-3



- レンズプロテク
ター AA-14B



- 水中用レンズプ
ロテクター
AA-15B

- 使用説明書
(本書)

- 保証書

※ メモリーカードは付属していません。本書ではmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリーカードを「メモリーカード」と表記することがあります。

※ ご購入時は、カメラにレンズプロテクターが装着されています。

カスタマー登録のお願い

下記のウェブサイトから登録をお願いします。

<https://reg.nikon-image.com/>

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリ（電池、バッテリーチャージャー、ACアダプター、USBケーブルなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- 専用Li-ionリチャージャブルバッテリーには、ニコン純正品を示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品のLi-ionリチャージャブルバッテリーをお使いになると、カメラの十分な性能が出せないことや、電池の異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。



ホログラム
シール

●説明書について

- 説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。
- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 「使用説明書」が破損などで判読できなくなったときは、PDF ファイルを下記のウェブサイトからダウンロードできます。
<http://downloadcenter.nikonimglib.com>
- ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。
- 印刷した「活用ガイド」をご注文いただけます（有料）。詳細はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

●著作権について

カメラで著作物を撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、個人として楽しむなどの目的であっても、実演や興行、展示物などは、撮影や録音制限されている場合がありますのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリーカード内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

譲渡/廃棄前に、必ず、**Y** (セットアップ) メニュー (☐23) の [本体設定] の [設定クリア] でカメラの設定を初期化してください。初期化後、市販のデータ削除専用ソフトウェアなどを使ってデータを完全に削除するか、**Y** (セットアップ) メニューの [本体設定] の [カードの初期化] でメモリーカードを初期化後、メモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。メモリーカードを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに十分ご注意ください。

●デジタルカメラ KeyMission 170 電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

(VCCIマークは以下の操作でモニター上に表示されます。撮影画面にする → **OK** ボタン → **Y** (セットアップ) アイコン → **OK** ボタン → 本体設定 → **OK** ボタン → 認証マークの表示 → **OK** ボタン)

VCCI-B

●リモコンML-L6 電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

 VCCI-B

安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
この説明書をお読みになった後は、いつでも参照できるように保管してください。



危険

「死亡または重傷を負うおそれ大きい内容」です。



警告

「死亡または重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

お守りいただく内容を、以下の図記号で区分しています。



は、してはいけない内容です。



は、実行しなければならない内容です。



危険



禁止

製品を、頭部に直接装着しない
事故やけがの原因になります。



警告



禁止

製品を、のりものを運転・操縦しながら操作しない
製品は、運転操作や車体の可動を妨げる場所には取り付けない
製品は、競技用装備などの妨げになる場合は装着しない
製品は、人やものと接触する状況では身体に装着しない
事故やけがの原因になります。



分解 禁止

分解、修理または改造をしない
落下などによる破損で内部が露出したら、露出部に触らない
感電やけがの原因になります。



実行

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、直ちに電池や電源を取り外す
放置すると、発火、やけどの原因になります。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電や発火の原因になります。



禁止

電源を入れたまま長時間直接触らない
低温やけどの原因になります。



禁止

引火、爆発のおそれのある場所では使わない
プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使うと、爆発や火災の原因になります。



禁止

幼児の手の届くところに置かない
故障やけがの原因になります。
小さな付属品を誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。



禁止

指定外の電池、充電器、ACアダプター、USBケーブルは使わない
指定の電池、充電器、ACアダプター、USBケーブルを使う際は、以下の点に注意する

- コードやケーブルを傷つけたり、加工したりしない
重いものを載せたり、加熱したり、引っばったり、無理に曲げたりしない
- 海外旅行者用電子式変圧器(トラベルコンバーター)や DC/ACインバーターなどの電源に接続して使わない
発火、感電の原因になります。



禁止

充電時やACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触らない
感電の原因になります。



実行

製品は、はずれないように正しく装着する
周囲の状況を把握して、安全を確認する
競技や施設のルールを遵守し、安全に配慮する
事故やけがの原因になります。

注意



禁止

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない
集光して、内部部品の破損や発火の原因になることがあります。



実行

使用が禁止されている場所では、電源をOFFにする
無線通信が禁止されている場所では、無線通信機能が作動しないようにする
医療機関や航空機内では、本機器が出す電磁波が、周囲の機器に悪影響を与えるおそれがあります。



実行

長時間使わないときは、電池やACアダプターを取り外す
故障や発火の原因になります。



禁止

夏場の車内や直射日光の当たる所など高温環境に放置しない
故障や発火の原因になります。



実行

製品の取り付け状態、劣化や破損の有無を定期的に点検する
事故やけがの原因になります。



禁止

製品を装着した状態で身体を激しく動かさない
製品がはずれると、事故やけがの原因になります。



禁止

製品を不安定な場所に置いたり、とりついたりしない
製品がはずれたり倒れたりすると、事故やけがの原因になります。

危険 (電池について)

電池は誤った使い方をしない

注意事項を無視してお使いになると、液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。



禁止

- 充電電池は、専用の充電電池以外を使わない
- 電池を火の中に入れてたり、加熱したりしない
- 電池を分解しない
- 電池をネックレスやヘアピンなどの金属類に接触させてショート(短絡)しない
- 電池、または電池を入れたカメラに強い衝撃を与えたり、投げたりしない



禁止

リチャージャブルバッテリー EN-EL12は、EN-EL12の充電機能付きカメラ本体または専用の充電器以外で充電しない
液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。



実行

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の診察を受ける
放置すると、目に傷害を与える原因になります。

警告 (電池について)



禁止

電池を乳幼児の手の届く所に置かない
飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。



禁止

水につけたり、雨にぬらしたりしない
発火や故障の原因になります。
ぬれてしまったら、乾いたタオルなどで十分にふき取ってください。



禁止

変色・変形、そのほか異状に気づいたら使わない
所定の時間を超えても充電が完了しなければ、充電を中止する
放置すると、液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。



実行

電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、ビニールテープなどで接点部を絶縁する
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因になります。
ニコンサービス機関またはリサイクル協力店にご持参いただくか、自治体の規則に従って廃棄してください。



実行

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたら、すぐにきれいな水で洗い流す
放置すると、皮膚のかぶれなどの原因になります。

<重要>耐衝撃性能、防水/防じん、結露について

- ここに記載している耐衝撃性能、防水 / 防じん性能は、すべての状態での無破壊、無故障、防水を保証するものではありません。
- 本製品をぶつけたり落としたり、本製品に重いものを載せたりして、強い衝撃や振動や圧力を与えないでください。変形して気密性を失い、故障や浸水の原因になります。
- お客さまの誤った取り扱いが原因の浸水などによる故障は、保証の対象外です。

耐衝撃性能について

MIL-STD 810F Method 516.5-Shock^{※1}に準拠した当社試験(高さ 200 cmから高さ 5 cmの合板上へ落下)をパスしています。^{※2}

なお、落下の衝撃による塗装の剥離や変形など外観の変化は、当社試験の対象ではありません。

※1 米国防総省の試験方法の規格です。

高さ 122 cmから26方向(8角、12稜、6面)の落下試験を、5台のセットを使って、合計5台以内でパスする試験です(試験中に不具合が生じたときは、新たな5台のセットを使って、合計5台以内で試験します)。

※2 レンズプロテクターまたは水中用レンズプロテクター装着時。

防水/防じん性能について

JIS保護等級 IP68 に相当し、水深 10 m で 60分まで撮影できます。[※]

※ 当社の定める使用方法で、指定圧力の水中で指定時間使用できるという意味です。

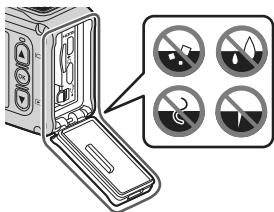
- 本製品の防水性能は、真水(プール、河川、湖など)と海水のみを対象としています。
- 本製品の内部は防水仕様ではありません。浸水すると部品がサビつくなど修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

✓ クリーニングするときのご注意

- マイクの孔やスピーカーの孔などを、尖ったもので突かないでください。カメラの内部を損傷すると、防水性能を失います。
- クリーニング時はベンジンなどの薬品、石けん、中性洗剤などを使わないでください。

耐衝撃性能、防水/防じん性能についてのご注意

- 本製品を落としたり、岩など硬いものにぶつかけたり、水面に投げたりしない。
- 水中で本製品に衝撃を与えない。
 - 本製品に急流や滝などの強い水圧をかけないでください。
 - 本製品を水深 **10 m** より深いところに持ち込まないでください。
 - 水中ではカメラを落下させないようにご注意ください。本製品は水に浮きません。
- 水中で**60分**以上連続して使わない。
- めれたメモリーカード、電池をカメラに入れない。
 - カメラや手がめれた状態でカバーを開閉しないでください。浸水や故障の原因になります。
- 水中で電池/メモリーカードカバーを開閉しない。
- カメラの外側や電池 / メモリーカードカバーの内側に水滴などの液体が付着したら、すぐに柔らかい乾いた布でふき取る。
 - カメラの外側や電池 / メモリーカードカバーの内側に異物が付着したら、すぐにブローアーや柔らかい布などで取り除いてください。
- 本製品を寒冷地での低温下、または、**40℃**以上の高温下に長時間放置しない。
 - 防水性能が劣化します。
 - 水温**0℃**から**40℃**の範囲内でお使いください。
- 温泉では使用しない。



水中で使用する前のご注意

水中で使用するときには以下を実施してください。

- 電池/メモリーカードカバーの内側に異物が付着していないか確かめる。
- 電池/メモリーカードカバーの防水パッキンにひび割れや変形がないか確かめる。
 - 防水パッキンが外れたりしていないかもお確かめください。
- 電池/メモリーカードカバーを確実に閉じたか確かめる。
 - 電池/メモリーカードカバーロックレバーが**LOCK**位置にあることも確かめてください (図2)。

使用温度と湿度、結露について

このカメラは、 $-10^{\circ}\text{C}\sim+40^{\circ}\text{C}$ での動作確認をしています。

寒冷地や標高の高い山では、以下にご注意ください。

- 電池の性能が一時的に低下します。カメラや予備電池は、衣服の内側に入れるなど、保温しながらお使いください。
- カメラが冷え切っていると、電源をONにした直後は画像モニターが通常よりも少し暗かったり、残像が出たりするなど、性能が一時的に低下することがあります。

● 結露しやすい環境について

以下のような温度の変化が大きい環境、または湿度が高い環境では、レンズや水中用レンズプロテクターの内側、画像モニターの内側がくもる（結露する）場合があります。本機の故障や不具合ではありません。

- 気温の高い陸上から急に水温の低い水中に持ち込む
- 寒冷地から屋内などの温かい場所に持ち込む
- 湿度が高い環境で、電池/メモリーカードカバーを開閉する
- 本体や水中用レンズプロテクターが水にぬれた状態で水中用レンズプロテクターを装着する

● 結露しにくくするには

- 電池 / メモリーカードカバーを開けた状態にしたカメラと、市販の乾燥剤をビニール袋などに入れて密閉してください。カメラ内部の湿度を下げると、結露しにくくなります。
- 水中で使用する前には、カメラの温度が高くなる場所（直射日光が当たる場所など）を避けて保管してください。カメラの温度が高い状態で水中に入れると、急激な温度変化により結露発生の原因になります。

● くもりを取る方法

- 高温・多湿、砂やほこりの多い場所を避け、周囲の温度が一定の場所で、電源をOFFにしてから電池/メモリーカードカバーを開ける。
電池とメモリーカードを取り出し、カバーを開けた状態で放置し、周囲の温度になじませると、レンズや画像モニターのくもりが取れます。水中用レンズプロテクターがくもっているときは、水中用レンズプロテクターを取り外してください。
- 水中用レンズプロテクターのくもりが取れにくい場合は、水中用レンズプロテクターを外して、カメラをしばらく動作させてから取り付けるとくもりが取れることがあります。

リモコンの防水性能について

リモコンの防水性能はJIS保護等級IPX7に相当し、水深1 mに30分浸しても浸水しないことを確認しています。

- 水中では使用できません。

リモコンの防水性能、結露についてのご注意

- 本製品を落としたり、岩など硬いものにぶつけたり、水面に投げたりしない。
- 故意に水の中に入れない。
 - 誤って水の中に落としたときは、すぐに拾って柔らかい乾いた布でふき取ってください。
- めれた電池を本製品に入れない。
 - リモコンや手がめれた状態で電池室カバーを開閉しないでください。浸水や故障の原因になります。
- リモコンの外側や電池室カバーの内側に水滴などの液体や異物が付着したら、すぐに柔らかい乾いた布でふき取る。
- 電池室カバーを確実に閉じたか確かめる。
 - CLOSEの位置にあることも確かめてください。
 - 糸くずなど細かい異物を挟み込まないようにご注意ください。浸水の原因になります。
- 本製品を寒冷地での低温下、または、40℃以上の高温下に長時間放置しない。
 - 防水性能が劣化します。
- リモコンが冷えた状態で、急に湿度が高い環境に持ち込まない。
 - 結露が起きて、リモコン内部に水滴がつくことがあります。

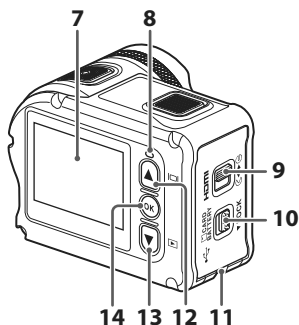
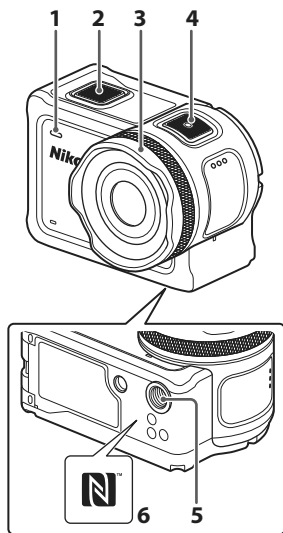
点検・修理について

- 本製品に衝撃が加わったら、ご購入店かニコンサービス機関にご相談のうえ、防水性能の点検（有料）をおすすめします。
- 防水パッキンが劣化していると思われるときはご購入店かニコンサービス機関にご相談ください。防水パッキンの防水性能は1年以上すると劣化することがあります。
- カメラ内部へ浸水した場合はただちに使用を中止し、すみやかにニコンサービス機関へお持ちください。



各部の名称

カメラ本体

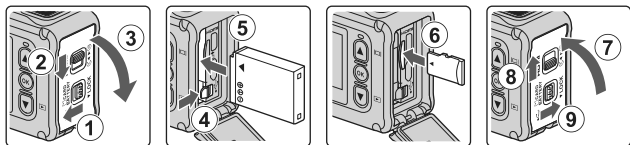


- 1 状態表示ランプ
- 2 静止画ボタン
- 3 レンズプロテクター
- 4 動画ボタン
- 5 三脚ネジ穴
- 6 Nマーク (NFCアンテナ部)

- 9 電池/メモリーカードカバー
開閉レバー
- 10 電池/メモリーカードカバー
ロックレバー
- 11 脱落防止用ひも取り付け部
- 12 ▲ (再生) ボタン
- 13 ▼ (再生) ボタン
- 14 OK (決定) ボタン

撮影の準備

電池とメモリーカードを入れる



- 電池/メモリーカードカバーロックレバー (①) のロックを解除し、電池/メモリーカードカバー開閉レバーを◀位置にして (②)、電池/メモリーカードカバーを手前に開きます (③)。
- 電池は、+と-を正しい向きにし、オレンジ色の電池ロックレバーをずらしながら (④)、奥まで差し込みます (⑤)。
- メモリーカードは、正しい向きでカチッと音がするまで差し込みます (⑥)。
- 電池やメモリーカードの向きを間違えると、カメラやメモリーカードの故障や破損の原因になりますので、ご注意ください。
- カバーを閉じてから (⑦)、電池/メモリーカード開閉レバーを▶位置にして (⑧)、電池/メモリーカードカバーロックレバーをLOCK位置にします (⑨)。開閉レバーとロックレバーのオレンジ色の指標が見えていないことを確認してください。

✓ 防水と防じんについてのご注意

「耐衝撃性能、防水/防じん性能についてのご注意」 → □xiii

✓ メモリーカードの初期化について

他の機器で使ったメモリーカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。

- **メモリーカードを初期化すると、メモリーカード内のデータは、すべて削除されます。**初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- メモリーカードをカメラに入れ、**Y** (セットアップ) メニューの [本体設定] (□23) の [カードの初期化] を選びます。

電池やメモリーカードを取り出すときは

電源をOFFにして、状態表示ランプと画面の消灯を確認してから、電池/メモリーカードカバーを開けます。

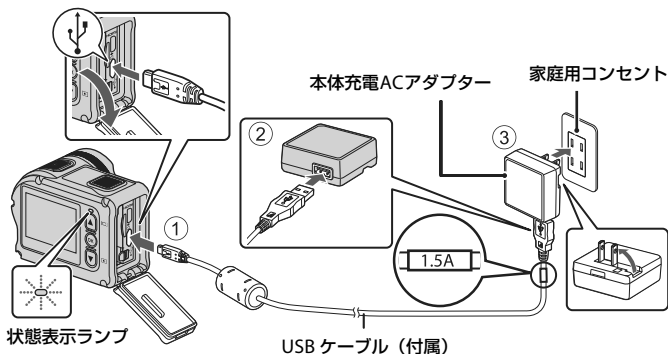
- 電池ロックレバーをずらすと、電池が押し出されます。
- メモリーカードを指で軽く押し込むと、メモリーカードが押し出されます。
- カメラを使った直後は、カメラや電池、メモリーカードが熱くなっていることがありますので、ご注意ください。

使用できるメモリーカード

microSDメモリーカード、microSDHCメモリーカード、およびmicroSDXCメモリーカードが使用できます。

- UHS-IIに対応しています。
- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のmicroSDXCメモリーカードをお使いください。
 - 動画のサイズ/フレームレートが [2160/30p] (4K UHD) または [2160/25p] (4K UHD) のときは、UHSスピードクラス3以上のメモリーカードをお使いください。
 - 転送速度が遅いメモリーカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- カードリーダーなどをお使いの場合は、お使いのメモリーカードに対応していることをご確認ください。
- メモリーカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、各カードメーカーにお問い合わせください。

電池を充電する



- 電池を入れたカメラを、図のように家庭用コンセントに接続すると充電が始まります。充電中は状態表示ランプが緑色でゆっくり点滅します。
- 充電が終わると、状態表示ランプが消灯します。コンセントから本体充電ACアダプターを外し、USBケーブルを外してください。充電時間は、残量がない電池の場合、約3時間です。
- 状態表示ランプが緑色で速い点滅を繰り返す場合は、充電できません。以下の原因が考えられます。
 - 充電可能な温度ではない。
 - USBケーブルまたは本体充電ACアダプターが正しく接続されていない。
 - 電池に異常がある。

✓ USBケーブルについてのご注意

- プラグは形状と向きを確認して、まっすぐに抜き差ししてください。
- UC-E21以外のUSBケーブルは絶対に使わないでください。発熱、火災、感電の原因になります。

✓ 充電中の電源ONについて

本体充電ACアダプターの接続中に動画ボタン、または静止画ボタンを押すと、電源がONになり、動画や静止画の撮影と再生、およびメニューの操作ができます（一部のメニューの操作に制限があります）。

電源のON/OFFについて

電源をONにする

- 動画ボタンまたは静止画ボタンを押すと、カメラの電源がONになり、撮影画面が表示されます。
- 電池残量は、画像モニターやSnapBridge 360/170アプリの画面で確認できます。



電源をOFFにする

- 電源がONのときに動画ボタンを3秒以上長押しすると、電源をOFFにできます。
- 以下の操作でも、電源をOFFにできます。
撮影画面にする→OKボタン→▲▼ボタンで①（電源OFF）を選ぶ→OKボタン
- 撮影後にカメラを操作しない状態が約30秒続くと、電源が自動でOFFになります（オートパワーオフ）。設定は、Y（セットアップ）メニュー（□□23）の【本体設定】の【オートパワーオフ】で変更できます。

オートパワーオフの設定について

- 電池のみで動作している場合、操作しない状態が続くと、オートパワーオフの設定に関わらず、決められた時間で電源がOFFになります。
 - 電源ON後（撮影開始前）：1分
 - メニュー操作、または再生モードでの操作後：3分
 - 通信メニュー【スマートフォンと接続】でNFC接続待機中：30分
 - 通信メニュー【リモコンとの接続】で接続待機中：3分
 - HDMIケーブル接続中（無信号の場合）：30分
 - USBケーブル接続中（データ送受信がない場合）：30分
- 以下の場合は、オートパワーオフしません
 - ACアダプター EH-62F接続中
 - パソコンとの接続中

リモート撮影中の電源OFFについて

SnapBridge 360/170アプリでリモート撮影中は、カメラのボタンは無効になります。電源をOFFにしたいときは、リモート撮影を終了してください。

リモート撮影の詳細については、SnapBridge 360/170アプリのオンラインヘルプをご覧ください。

電源をONにして、カメラをセットアップする

スマートフォン/タブレットを使う場合

カメラとスマートフォン/タブレット（以下、「スマートフォン」と表記します）をBluetoothで接続する設定を、ここでは「ペアリング」と呼びます。

● カメラ

- 空き容量のあるmicroSDメモリーカードを入れます。
- 途中で電源が切れないよう、十分に充電されていることを確認します。

● スマートフォン

- 「SnapBridge」と「SnapBridge 360/170」の2種類のアプリがありますが、このカメラとのペアリングには、「SnapBridge 360/170」をお使いください。
- スマートフォンのBluetooth設定画面からはペアリングしないでください。



1 カメラの電源がOFFになっている（画面が消灯している）ことを確認する

- カメラの電源をOFFにするには、動画ボタンを3秒以上長押しします。→「電源のON/OFFについて」(□□5)

2 スマートフォンのBluetoothとWi-Fiの設定を有効にする

- NFCを使う場合：スマートフォンのNFCの設定を有効にしてください。

3 SnapBridge 360/170アプリをインストールする

- SnapBridge 360/170アプリをインストール後、NFCを使うすべてのアプリ（SnapBridge 360/170アプリを含む）を終了してください。NFCを使うアプリが動作していると、ペアリングに失敗することがあります。

4 動画ボタン、または静止画ボタンを押し、カメラの電源をONにする

- 言語選択の画面が表示されます。背面の▲▼で言語を選び、Ⓚ ボタンを押して決定します。

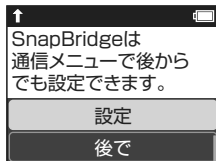
📎 「SnapBridge 360/170アプリ 使い方動画」について

下記のウェブサイトで、SnapBridge 360/170アプリのペアリングや基本操作などを動画で分かりやすく紹介しています。

http://imaging.nikon.com/lineup/action/keymission_170/index.htm#movie

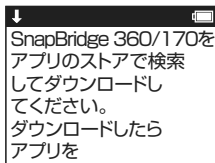
5 ▼ で画面をスクロールして [設定] を選び、**OK** ボタンを押す

- スマートフォンを使わずにカメラをセットアップする場合は、[後で] を選びます (□9)。



6 NFCを使わない場合は、▼ で画面をスクロールして [次へ] を選び、**OK** ボタンを押す

- カメラに右の画面が表示されます。画面をスクロールするとアプリ名とカメラ名が表示されません。
- 状態表示ランプが赤と緑で交互に点滅し、カメラがペアリング待機状態になります。
- NFCを使う場合：**
手順6で [次へ] を選ぶ前に、スマートフォンのNFCアンテナ部を、カメラのN (Nマーク) にタッチします (□1)。スマートフォンのSnapBridge 360/170アプリが起動し、画面に [カメラ名の取得ができました。接続を切り替えますか。] と表示されたら、[OK] を選びます。手順8に進んでください。



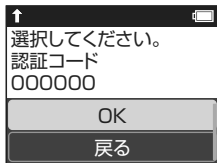
7 スマートフォンのSnapBridge 360/170アプリを起動する

- スマートフォンに右の画面が表示されたら、カメラ名をタッチしてください。
- iOSの場合：**
カメラ名をタッチした後にアクセサリの選択画面が表示されたときは、スマートフォンの画面右上のBluetoothマークが白色から灰色に変わってから、カメラ名をタッチしてください。カメラ名が表示されるまでに時間がかかることがあります。



8 認証コードを確認する

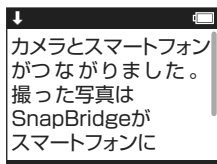
- カメラの画面とスマートフォンの画面に同じ認証コードが表示されていることを確認します。
- カメラとスマートフォンを、同じタイミングで以下のように操作してください。



- カメラ：▼で画面をスクロールして [OK] を選び、**OK** ボタンを押します。
- スマートフォン：[ペアリング] をタッチします（ボタン名はスマートフォンの機種によって異なることがあります）。

9 画面の指示に従ってペアリングを完了する

- カメラ：ペアリングに成功すると、右の画面が表示されます。▼で画面をスクロールして [次へ] を選んで **OK** ボタンを押してください。
- スマートフォン：画面の指示に従って操作してください。



10 カメラの画面に従ってセットアップを完了する

- [位置情報をスマートフォンから取得しますか?] で [はい] を選ぶと、撮影画像に位置情報が記録されます。SnapBridge 360/170 アプリとスマートフォン本体の位置情報機能を有効にしてください。
- [日時をスマートフォンと同期させますか?] で [はい] を選ぶと、カメラの内蔵時計を自動で設定できます。SnapBridge 360/170 アプリの時刻の同期を有効にしてください。
- セットアップが完了すると、撮影画面になります。
- [SnapBridge活用のヒント] (□10) をご覧ください。

✓ 無線通信が禁止されている場所で、通信機能をOFFにする

カメラの通信メニューで [機内モード] を [する] にしてください。スマートフォンとの常時接続も一時的に切断されますが、[しない] に戻すと自動的に再接続します。

スマートフォン/タブレットを使わない場合

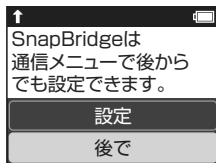
日時を手動で設定します。

1 動画ボタン、または静止画ボタンを押し、カメラの電源を ON にする (☞5)

- 言語選択の画面が表示されます。背面の ▲▼ で言語を選び、OK ボタンを押して決定します。
- 言語は Y (セットアップ) メニューの [本体設定] (☞23) の [言語/Language] で変更できます。

2 右の画面が表示されたら、▲▼で [後で] を選び、OK ボタンを押す

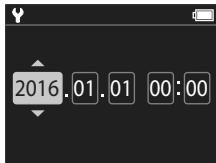
- 右の画面は、▼で下までスクロールすると表示されます。
- 画面に [日時を設定しますか?] と表示されたら、[はい] を選びます。



3 ▲▼で日付の表示順を選び、OK ボタンを押す


4 日付と時刻を設定して、OK ボタンを押す

- OK ボタンでカーソルを移動して項目を選び、▲▼で日時を合わせます。
- カーソルを一番右まで移動して OK ボタンを押し、設定を確認します。



5 確認画面が表示されたら、▲▼で [はい] を選び、OK ボタンを押す

- セットアップが完了すると、撮影画面になります。

 日時の設定を変更するには

Y (セットアップ) メニューの [本体設定] (☞23) の [日時設定] で設定します。

SnapBridge活用のヒント

カメラとスマートフォンをペアリングすると、SnapBridge 360/170 アプリのさまざまな機能が使えます。

詳しい使い方はオンラインヘルプをご覧ください。

<http://nikonimglib.com/snbrkm/onlinehelp/ja/index.html>


SnapBridge360/170アプリの [その他] → [情報・設定] → [操作説明] でも表示できます。




撮影画像の送信について

初期設定では、カメラで撮影した画像はスマートフォンに自動で送信されます。

- スマートフォンはカメラの近くに置き、SnapBridge 360/170 アプリを起動してください。

項目	内容
画像の自動送信をOFFにする	本体設定メニュー（[本体設定]）（☞23）の通信メニュー [撮影時画像送信] の [静止画] で設定します。
静止画の送信条件を設定する	自動送信する画像の種類を、本体設定メニュー（[本体設定]）（☞23）の通信メニュー [撮影時画像送信] の [静止画送信条件] で変更できます。
選んだ画像を送信する	撮影時に自動送信しなかった画像は、カメラの再生メニューの  （画像送信）でスマートフォンに送信できます（☞13）。
画像サイズを選択する	SnapBridge 360/170 アプリでスマートフォンに保存する画像サイズを選択できます。初期設定は2Mサイズです。

画像送信についてのご注意

動画は、[撮影時画像送信] と （画像送信）では送信できません。動画をスマートフォンに取り込むには、SnapBridge 360/170 アプリを操作してください。

無線通信機能について

項目	内容
カメラのセットアップ後にペアリングする	カメラの通信メニュー [スマートフォンと接続] を選び、「スマートフォン/タブレットを使う場合」の手順5 (□7) から設定します。
ペアリングを解除する	SnapBridge 360/170アプリの、🔄 [つながる] の👉をタッチして表示される画面で、[ペアリングを切る] をタッチします。
Wi-Fi接続について	リモート撮影やお好み画像転送などではWi-Fi接続になります。 iOSの場合は、スマートフォンの [設定] > [Wi-Fi] でカメラのSSIDを選んでWi-Fi接続してください。 [パスワード] や [認証/暗号] はカメラの📷 (セットアップ) メニュー → [本体設定] → [通信メニュー] → [Wi-Fi] → [接続設定] で確認できます。 パスワードの初期値は"NikonKeyMission"です。パスワードは初期値から変更してください。
登録できるスマートフォンの台数	このカメラは接続するスマートフォンを最大5台登録できます。ただし一度に接続できるのは1台のみです。

✔ 再ペアリングについて

ペアリングを解除後にもう一度ペアリングするときは、再ペアリングをしてください。カメラの通信メニュー [スマートフォンと接続] を選び、カメラとスマートフォンの画面に従って設定してください。

[NFCを使わない：次へを選択してください。] 画面で [次へ] を選び📄ボタンを押したときは、スマートフォンのSnapBridge 360/170アプリを起動してください。🔄 [つながる] の👉をタッチして表示される画面で、ペアリングするカメラの機種名をタッチします。カメラの画面に認証コードが表示されたら、「スマートフォン/タブレットを使う場合」の手順8 (□8) 以降に従って設定してください。

SnapBridge 360/170 アプリのその他の機能について

項目	内容
リモートで撮影する	スマートフォンでカメラのシャッターがきれます。
リモートで設定を変更する	スマートフォンで撮影の設定などを変更できます。
カメラ内の画像を閲覧する	カメラに保存した画像を、スマートフォンで閲覧できます (カメラの電源がOFFのときも閲覧できます)。スマートフォンで画像を指定して、カメラから送信することもできます。

カメラを使ってみよう

動画または静止画を撮影する

1 動画ボタン、または静止画ボタンを押す

- 電源がONになり、撮影画面が画像モニターに表示されます。
- 静止画を連写するには、**Y** (セットアップ) メニューの静止画メニューで **[連写]** を選んでください。



2 動画は動画ボタン、静止画は静止画ボタンを押して撮影する

- 動画撮影を終了するには、もう一度動画ボタンを押します。撮影した動画や静止画はメモリーカードに保存されます。

✓ 水中での使用について

- 水中で使用するときは、水中用レンズプロテクターを取り付けてください (□21)。水中用レンズプロテクターを取り付けないと、ぼやけた画像になります。
- **Y** (セットアップ) メニューの **[撮影パラメーター設定]** の **[水中撮影]** を **[する]** に設定してください (□23)。
- 水中では画角 (写る範囲) は狭くなります。
- 水中では無線通信はできません。リモコンも使用できません。

📎 モニターの消灯・点灯について

- 撮影画面が表示されているときに **▲** (□10 モニター) ボタンを押すと、モニターを消灯・点灯できます。
- 動画撮影を開始して30秒過ぎるとモニターが自動で消灯します (初期設定)。動画撮影中は **▲** (□10 モニター) ボタンは使えません。モニターが消灯するまでの時間は **Y** (セットアップ) メニューの **[本体設定]** の **[動画撮影中設定]** の **[LCD自動消灯]** で変更できます。

📎 カメラの電源OFFについて

初期状態では、動画または静止画を撮影完了してカメラを30秒間操作しなければ、自動で電源がOFFになります (□5)。

📎 4 GBを超える動画について

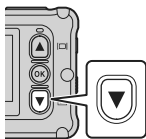
4 GBを超える動画を撮影すると、複数のファイルに分割して記録します。1ファイルのファイルサイズは最大4 GBです。

動画または静止画を再生する

水中用レンズプロテクターに指紋などの汚れがあると、汚れが画像に写り込みます。撮影前に、柔らかい乾いた布で汚れをふき取ってください。

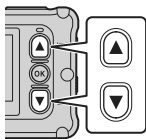
1 ▼ボタンを押す

- 電源がOFFのときは、この操作の前に動画ボタン、または静止画ボタンを押して電源をONにします。
- **🏠** (HOME) 画面で、**▶** (再生) を選んでも再生できません (□23)。
- 画像モニターには、最後に撮影した画像または動画の1フレーム目が表示されます。



2 ▲▼で再生したい画像を表示する

- **▲▼**を長押しすると、画像が早く切り換わります。
- 動画を再生するには、ここで**⏮**ボタンを押して**▶** (再生) を選びます。
- カメラ本体で動画編集もできます。動画編集については、活用ガイドをご覧ください。活用ガイドはダウンロードセンター (□iv) からダウンロードできます。

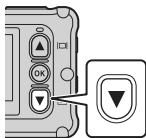


画像をスマートフォン/タブレットに送信する

撮影後に画像を送信するときは、スマートフォン側でSnapBridge 360/170 アプリを起動し、カメラ側で次の操作を行います。

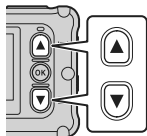
1 ▼ボタンを押す

- 電源がOFFのときは、この操作の前に動画ボタン、または静止画ボタンを押して電源をONにします。
- 画像モニターには、最後に撮影した画像または動画の1フレーム目が表示されます。



2 ▲▼で送信したい静止画を表示する

- ▲▼を長押しすると、画像が早く切り換わります。
- カメラからの操作では、動画は送信できません。動画を送信するには、SnapBridge 360/170 アプリを操作してください。



3 OKボタンを押し、再生メニューを表示する



4 ▲▼で🔄（画像送信）を選び、OKボタンを押す

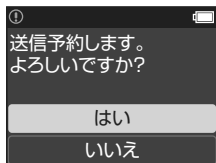
- この手順で🗑️（削除）を選ぶと、表示されている画像を削除できます。



再生メニュー

5 [はい] を選び、OKボタンを押す

- 画像がスマートフォンに送信されます。



アクセサリーを使う

カメラに付属のアクセサリーの使い方や機能について説明します。

リモコンを使う

リモコンML-L6を使うと、遠隔操作で動画、静止画の撮影やハイライトタグの挿入などができます。カメラの電源をONにすることもできます。

リモコン各部の名称と機能



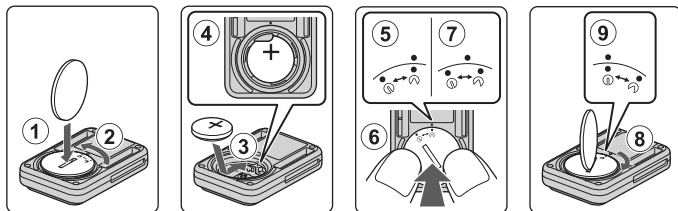
	操作部	機能	
1	電源ボタン	電源ボタンを押すと、リモコンの電源がONになり、もう一度押すとOFFになります。カメラの電源をOFFにすることもできます。	—
2	Fnボタン	動画撮影中に押すと、以下のいずれかができます。 <ul style="list-style-type: none">ハイライトタグの挿入（初期設定）ハイフレームレート動画に切り換え（スロー挿入動画撮影中）	—
		Fnボタンを押したときの動作は、（セットアップ）メニュー（23）の[本体設定]で切り換えます。 カメラの接続先をリモコンからペアリング済みのスマートフォンに切り換えます。	18
3	静止画ボタン	カメラの静止画ボタンと同じ機能です。カメラの電源のONや静止画撮影ができます。	12
4	状態表示ランプ	カメラの状態表示ランプと連動して、撮影の動作状態を表示します。	—
5	動画ボタン	カメラの電源のONや動画撮影の開始と停止ができます。	12

リモコンのご使用のご注意

- 水中では使用できません。
- 「リモコンの防水性能について」（xv）、「リモコンの防水性能、結露についてのご注意」（xv）をよくお読みください。

リモコンに電池を入れる

3V CR2032型リチウム電池を入れます。



- 硬貨などで (1) 電池室カバーを反時計まわりに回し (2)、電池室カバーを開けます。
- 「+」と「-」の向きに注意して、電池を中央にセットします (3)。電池が電池室の中央におさまっていることを確認してください (4)。
- 電池室カバーの●をリモコンの●に合わせて置き (5)、電池室カバーを親指で押し込みます (6)。電池室カバーは時計まわりに少し回転した位置で止まります (7)。
- 硬貨などで電池室カバーを時計まわりに回します (8)。電池室カバーの⊖●がリモコンの●の位置に来るまでしっかり回してロックします (9)。
- 電池室カバーを閉じるときは、糸くずなど細かい異物を挟み込まないようにご注意ください。防水性能が損なわれ、浸水の原因になります。

カメラとリモコンをペアリングする

はじめてリモコンを使うときには、カメラとのペアリングが必要です（カメラに付属のリモコンは出荷時にペアリング済みです。以下の設定は必要ありません）。

※ カメラとリモコンをBluetoothで接続する設定のことを、ここではペアリングと言います。

- リモコンは1台のカメラにつき1個のみペアリングできます。別のリモコンを登録すると、最後に登録したリモコンのみ有効になります。

1 カメラをペアリング待機中にする

- 撮影画面にする → OKボタン → Y（セットアップ）アイコン → OKボタン → 本体設定 → OKボタン → 通信メニュー → OKボタン → リモコンとの接続 → OKボタン

2 リモコンの電源ボタンを長押し（3秒以上）する

- カメラとリモコンのペアリングがはじまります。この間、リモコンの状態表示ランプが点滅します。
- ペアリングが完了すると、撮影画面にリモコンのアイコンが表示されます。
- ペアリングに失敗したことを知らせるメッセージが表示されたら、手順1からやり直してください。



カメラの状態表示ランプについて

- ペアリング待機中は、カメラの状態表示ランプが緑と赤で交互に点滅します。
- ペアリングに成功すると、緑色で2回点滅します。
- ペアリングに失敗すると、赤色で6回点滅します。

スマートフォンとリモコンを切り換える

スマートフォンとリモコンは同時に使用できません。以下の手順で切り換えてください。


●スマートフォンからリモコンに切り換える

カメラの接続先をスマートフォンからペアリング済みのリモコンに切り換ええます。

1 通信メニューの [接続先切替] で [カメラとリモコン] を選ぶ

- カメラの接続先がリモコンに切り換わります。

2 リモコンの電源をONにする

- カメラとリモコンが接続されます。
撮影画面に  が表示されます。




●リモコンからスマートフォンに切り換える

カメラの接続先をリモコンからペアリング済みのスマートフォンに切り換ええます。

1 カメラとリモコンの電源をONにし、リモコンのFnボタンを長押しする

- カメラの接続先がスマートフォンに切り換わります。

2 スマートフォンでSnapBridge 360/170 アプリを起動する

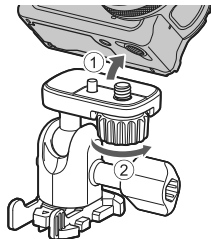
- カメラとスマートフォンが接続されます。
撮影画面に、 が表示されます。

ベースアダプターとベースマウントを使う

カメラにベースアダプターを取り付けると、ベースマウントなどの専用アクセサリーを使用できるようになります。

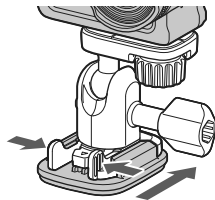
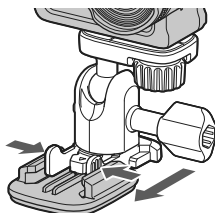
- ベースマウントは、粘着力を高めるために、カメラを使用する24時間以上前に貼り付けてください。

- 1 カメラ取り付けネジをカメラの三脚ネジ穴に合わせ (①)、カメラ取り付けノブを締める (②)



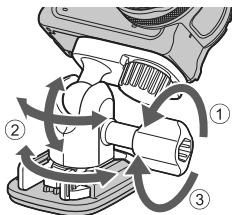
- 2 ベースアダプターのバックルをベースマウントに取り付ける

- バックルの 2 つの突起部を同時につまみながら、カチッと音がするまで、バックルをスライドさせます。
- バックルを外すときは、2 つの突起部を同時につまみながら、取り付けと逆の方向にスライドさせます。



3 カメラの角度を調整する

- 雲台ロックネジを緩めて (①)、カメラの角度を決めてから (②)、ネジを締めます (③)。



4 ベースマウントを接着させる表面に、異物がないことを確認する

- ほこりや水分などの異物がある場合は、取り除いてください。

5 ベースマウントの裏の剥離フィルムをはがし、ベースマウントをしっかりと押しつけて表面全体が接触するように貼り付ける

ベースマウントについて

ベースマウントは、カメラを搭載したベースアダプターを簡単に着脱するアクセサリです。

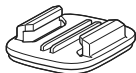
カメラを取り付けたい場所に接着します。

接着面に応じて、平面用と曲面用を使い分けてください。

ベースマウントは車載用ではありません。車には取り付けないでください。

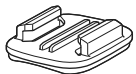
• ベースマウント (平面) :

平らな面に取り付ける場合に使います。



• ベースマウント (曲面) :

ヘルメットなどの曲面に取り付ける場合に使います。



✓ ベースアダプターおよびベースマウント使用時のご注意

- ベースアダプターやベースマウントは、スキー板やスノーボードに直接取り付けるなど、荷重が急激に加わるような使い方をしないでください。荷重が急激に加わると、アクセサリが破損したり、ベースマウントの接着がはがれたりします。
- 接着したベースマウントは、はがして再利用できません。
- 接着する素材によっては、表面が壊れたり、塗装がはがれる可能性があります。取り付ける際には、十分ご注意ください。
- ベースマウントは、木やコンクリートなど、表面に凹凸のある素材への接着には適していません。

レンズプロテクター、水中用レンズプロテクターを使う

• レンズプロテクター ※

正面からの衝撃に対してレンズを保護するプロテクターです。

• 水中用レンズプロテクター

水中で使用するときや、砂利などがぶつかるような場面でレンズを保護するプロテクターです。

※ ご購入時は、カメラにレンズプロテクターが装着されています。

✓ 水中での使用について

水中で使用するときには、水中用レンズプロテクターを取り付けてください。水中用レンズプロテクターを取り付けないと、ぼやけた画像になります。

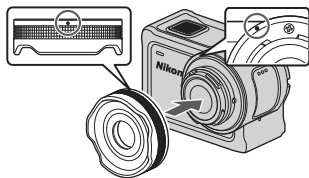
レンズプロテクター / 水中用レンズプロテクターを取り付ける

✓ 水中用レンズプロテクター取り付け時のご注意

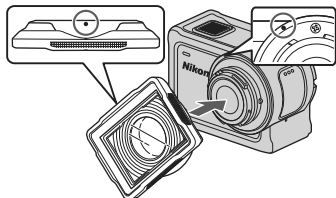
柔らかな布やエアダスターなどでカメラや水中用レンズプロテクターに付着した水分やごみを取り除いてください。

水分が残った状態で取り付けると、結露の原因になります。

1 レンズプロテクターとカメラの指標を合わせて、カメラにはめ込む



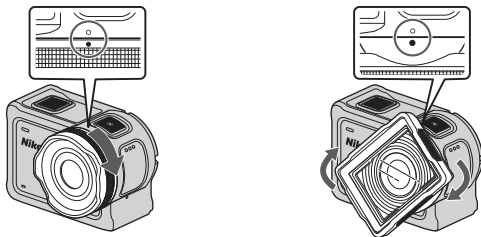
レンズプロテクター



水中用レンズプロテクター

2 レンズプロテクターを右に回して固定する

- カメラ上部の指標(○)とレンズプロテクターの指標が合う位置(カチッという位置)まで回してください。
- 水中用レンズプロテクターは、カメラ側に押しつけながら取り付けてください。



✓ 取り付け後のご確認について

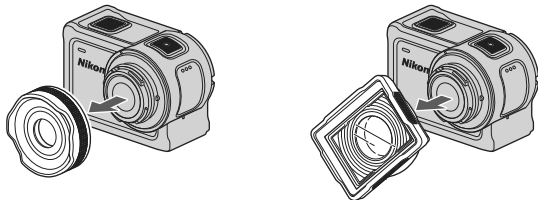
確実に装着されていることを確認してください。

レンズプロテクター / 水中用レンズプロテクターを取り外す

1 レンズプロテクターを左に回す



2 レンズプロテクターを手前に取り外す



メニューを使う

メニューの操作方法

このカメラでは、以下のメニューを設定できます。

- 動画メニュー ※1、2
- 静止画メニュー ※1
- 撮影パラメーター設定メニュー ※1
- 本体設定メニュー ※1
- 再生メニュー ※3

※1 **Y** (セットアップ) メニューの項目です。

※2 メニューアイコンと設定できる項目は、撮影モードによって異なります。

※3 再生画面で **OK** ボタンを押すと設定できます。

Y (セットアップ) メニューの項目は、以下の手順で設定します。

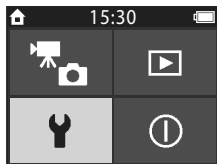
1 撮影画面で **OK** ボタンを押す

- **HOME** (画面) が表示されます。
- メニューの操作中に撮影画面に戻るには、動画ボタンまたは静止画ボタンを押します。



2 **▲▼** で **Y** (セットアップ) を選び、**OK** ボタンを押す

- **Y** (セットアップ) メニューが表示されます。



3 **▲▼** でセットアップ項目を選び、**OK** ボタンを押す

- 以降、同じ要領でメニュー項目を選んでいき、変更したい項目が表示されたら、項目に応じて設定を選択します。
- 一つ前の画面に戻るには、[<戻る] を選び、**OK** ボタンを押します。



無線通信機能についてのご注意

● 電波に係わるご注意

- 本製品はWi-Fi（無線LAN）/Bluetooth機能を搭載しています。国や地域によって、法律によりWi-FiおよびBluetooth機能が使用できない場合があります。ご購入された国以外での使用については、本書の裏表紙に記載のニコン カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

● セキュリティーについて

- 本製品は電波を利用して情報を交換するため、電波の届く範囲で自由に無線接続が可能であるという利点がありますが、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。
 - 情報の漏洩：悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、IDやパスワードなどの個人情報が漏洩する可能性があります。
 - 不正アクセス：悪意ある第三者が無断でネットワークにアクセスして、なりすまし、情報の改ざんなどの行為を行う可能性があります。また、本製品にセキュリティーを設定したにもかかわらず、Wi-FiおよびBluetoothの仕様上、特殊な方法によりセキュリティーが破られることもありますので、ご理解の上ご使用ください。データ送受信による情報漏洩には、当社は一切の責任を負いません。
- スマートフォンやタブレットに使用権限のないネットワークが表示されても、接続しないでください。接続すると、不正アクセスとみなされるおそれがあります。使用権限のあるネットワークだけをお使いください。

● 個人情報の管理および免責事項

- 使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi接続設定等の個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いで変化、消失する場合があります。
必要な内容は、お客様の責任において控えを必ずおとりください。
当社の責によらない内容の変化、消失、それらに起因する直接または間接の損害および逸失利益には、当社は一切の責任を負いません。
- カメラを譲渡/廃棄するときは、使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi接続設定等の個人情報を含む内容を、Y（セットアップ）メニュー（□23）の [本体設定] の [通信メニュー] の [設定の初期化] で、初期化してください。
- 本製品の盗難や紛失などで、第三者による不正使用の被害が発生しても、当社は一切の責任を負いません。

● 本製品の輸出、持ち出しに係わるご注意

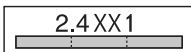
本製品は米国輸出管理規則 Export Administration Regulations（EAR）を含む米国法の対象です。EARの輸出規制国（キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シリア：変更される可能性があります）以外への輸出や持ち出しは、米国政府の許可は不要です。

● Wi-Fi（無線LAN）機能/Bluetooth機能のご注意

デジタルカメラ KeyMission 170



リモコン ML-L6



- 本製品の使用周波数帯は、以下の機器や無線設備と同じです。
 - 電子レンジなどの産業・科学・医療用機器
 - 工場の製造ライン等の移動体識別用の
 - ① 構内無線局（免許を要する無線局）
 - ② 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
 - アマチュア無線局（免許を要する無線局）これらの無線設備の近くでは、電波干渉で通信速度の低下、通信距離の短縮、通信の途絶が双方に生じることがあります。
- 本製品で電波干渉を起こさないよう、以下にご注意ください。
 - 使用周波数帯が同じ無線設備が近くにないか、事前に確認する
 - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に電波干渉を生じたら、Wi-Fiアクセスポイントのチャンネル番号を変更して使用周波数を変える
 - その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面に記載の二コンカスタマーサポートセンターにご相談ください。
- 本製品は、電子レンジなどの電気製品、AV機器、OA機器などの電磁波や磁気の発生源の周辺で使わないでください。
 - 雑音が増大したり、通信が途絶したりします。
 - AV機器、OA機器などの受信障害の原因になります。

● 本製品の使用上のご注意

本製品は、Wi-Fi/Bluetooth機器としてお使いください。

Wi-Fi/Bluetooth機器以外としての使用による損害は、当社では一切の責任を負いません。

- 医療機器や人命に直接的または間接的に係わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使わないでください。
- Wi-Fi/Bluetooth 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途では、使用システムの安全設計や故障に対する適切な処置をしてください。

取り扱い上のご注意

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(㉒viii~xi)をお守りください。

カメラについて

カメラについての取り扱い上の注意については、「<重要>耐衝撃性能、防水/防じん、結露について」(㉒xii)をあわせてご確認ください。

● 強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりすると、故障の原因になります。また、レンズやレンズバリアーに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 急激な温度変化を与えないでください

温度差が極端な場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆の場合）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に結露が生じ、故障の原因になります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使ってください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は、撮像素子などの褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際に撮影した画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● 電池やACアダプターやメモリーカードを取り外すときは、必ず電源をOFFにしてください

電源がONの状態を取り外すと、故障の原因になります。特に、撮影中やデータの削除中は、データの破損やメモリーカードの故障の原因になります。

● 画像モニターについて

- 画像モニター（電子ビューファインダー含む）は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- 屋外では画像モニターは、日差しの影響で見えにくいことがあります。
- 画像モニターの表面を強くこすったり、強く押したりすると、破損や故障の原因になります。万一、画像モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでけがをされるおそれがありますのでご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないようご注意ください。

電池について

● 使用上のご注意

- 使用後の電池は、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 周囲の温度が0℃～40℃の範囲を超える場所で使うと、性能劣化や故障の原因になります。
- 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたら、すぐに使用を中止して、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、ビニール袋などに入れて絶縁してください。

● 充電について

撮影の前に充電してください。付属の電池は、ご購入時にはフル充電されておりません。

- 周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。
- 電池内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になったりし、性能劣化の原因にもなります。カメラの使用直後など、電池内部の温度が高くなっているときは、電池の温度が下がるのを待ってから充電してください。
このカメラを本体充電ACアダプター またはパソコンに接続して充電する場合、電池の温度が0℃以下、45℃以上のときは、充電をしません。
- 充電が完了した電池を、続けて再充電すると、性能が劣化します。
- 充電直後に電池の温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。

● 予備電池を用意する

撮影環境に応じて、予備電池をご用意ください。地域によっては入手が困難な場合があります。

● 低温時には残量の十分な電池を使い、予備電池も用意する

電池は一般的な特性として、性能が低温時に低下します。低温時には、電池およびカメラを冷やさないようにしてください。

消耗した電池を低温時に使うと、カメラが動かないこともあります。予備の電池は保温し、交互にあたためながらお使いください。低温で一時的に使えなかった電池も、常温に戻ると使える場合があります。

● 電池の接点について

電池の接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがあります。接点の汚れは、乾いた布で拭き取ってください。

● 残量のなくなった電池は充電する

残量のなくなった電池をカメラに入れたまま、何度も電源のON/OFFを繰り返すと、電池の寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなった電池は、充電してからお使いください。

● 保管について

- 電池を使わないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。取り付けただまにすると、電源を切っていても微小電流が流れ続けて過放電状態になり、使えなくなることがあります。
- 電池は、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。
- 電池は、ビニール袋などに入れて絶縁し、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15℃～25℃くらいの乾燥した場所をおすすめします。暑い場所や極端に寒い場所は避けてください。

● 寿命について

電池を十分に充電しても、使用期間が極端に短くなってきたときは、寿命です。新しい電池をお買い求めください。

● リサイクルについて



充電を繰り返して劣化し、使えなくなった電池は、廃棄しないでリサイクルにご協力ください。接点部にビニールテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion 00

数字の有無と数値は電池によって異なります。

本体充電ACアダプターについて

- 本体充電ACアダプターEH-73Pに対応している機器以外で使わないでください。
- UC-E21以外のUSBケーブルは絶対に使わないでください。発熱、火災、感電の原因になります。
- EH-73P以外の本体充電ACアダプター、USB-ACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。
- EH-73Pは、家庭用電源のAC 100-240 V、50/60 Hzに対応しています。日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめのうえ、お買い求めください。

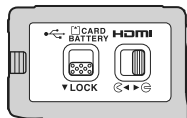
お手入れ方法

水中で使用後のクリーニング

水中や海辺などでカメラを使った後は、60分以上放置せずに、以下の手順で水洗いしてください。水中用レンズプロテクターを例に説明します。

1. 電池 / メモリーカードカバーが確実に閉まっている（ロックがかかっている）ことを確認する

- 電池 / メモリーカードロックレバーおよび電池 / メモリーカード開閉レバーが、右の図のようになっていて、それぞれのオレンジ色の指標が見えないことを確認してください。



2. 水中用レンズプロテクターを取り付けたまま、真水で洗う

浅い容器に溜めた真水の中に、約10分間浸け置きしてください。

- 真水に浸けて軽く揺すり、異物を洗い流してください。異物が残っているときは、綿棒などで取り除いてください。
- 水に浸けると、マイクやスピーカーなどの水抜き孔からわずかに気泡が出ることがありますが、故障ではありません。



3. 柔らかい乾いた布で水滴をふき取り、風通しのよい日陰で乾かす

- 乾いた布などの上に立てて置いて、乾かしてください。
- ドライヤーなどの熱風や乾燥機などで乾燥させないでください。

4. 水滴などの付着がないことを確認してから、水中用レンズプロテクターを取り外し、水中用レンズプロテクターの内側に残った水滴や砂粒を柔らかい乾いた布で取り除く

- 内側がぬれたままで水中用レンズプロテクターを取り付けると、結露や故障の原因になります。

5. 水滴などの付着がないことを確認してから、電池 / メモリーカードカバーを開け、バッキンやカメラの内側に残った水滴や砂粒を柔らかい乾いた布でふき取る

- 内側がぬれたままでカバーを閉じると、結露や故障の原因になります。

水中以外で使用後のクリーニング

レンズ、レンズプロテクター、画像モニター、カメラボディーや専用アクセサリ等に付着したゴミやホコリはブロアーやエアダスターなどで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。

保管について

カメラを長期間お使いにならないときは電池を取り出し、以下の場所を避けて保管してください。ただし、カビや故障を防ぐため「月に一度」を目安に電池を入れ、カメラを操作するようおすすめします。

- 換気の悪い場所や湿度が60%を超える場所
- 温度が50℃以上、または-10℃以下の場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺
- 取り外した電池は使い切った状態で保管し、半年に1回は充電してください。また、ビニール袋などに入れて絶縁し、涼しい場所で保管してください。

主な仕様

ニコン デジタルカメラ KeyMission 170

型式	コンパクトデジタルカメラ
有効画素数	829万画素
撮像素子	1/2.3型 原色CMOS、総画素数1271万画素
レンズ	NIKKORレンズ
焦点距離	2.4 mm (35mm判換算15 mm相当)
開放F値	f/2.8
レンズ構成	5群7枚
画角	170°
手ブレ補正機能	電子式 (動画)
フォーカス	固定焦点
撮影距離範囲	先端レンズ面中央から約40 cm～∞
画像モニター	1.5型TFT液晶、約34万ドット
視野率 (撮影時)	上下左右とも約97 % (対実画面)
視野率 (再生時)	上下左右とも約99 % (対実画面)
記録方式	
記録媒体	microSD/microSDHC/microSDXCメモリーカード
対応規格	DCF、Exif 2.3準拠
ファイル形式	静止画: JPEG 動画: MP4(映像:H264/MPEG-4 AVC、音声:AACステレオ)
記録画素数	8M (3840×2160)
動画設定	
通常速度の動画	[NTSC/PAL] 設定が [NTSC] のとき • 2160/30p • 1080/30p • 1080/60p [NTSC/PAL] 設定が [PAL] のとき • 2160/25p • 1080/25p • 1080/50p
HS動画	HS 1080/4 倍 HS 720/8 倍

ISO感度 (標準出力感度)	ISO 100~1600
露出	
測光モード	マルチパターン測光
露出制御	プログラムオート、露出補正 (±2段の範囲で1/3段刻み) 可能
シャッター方式	CMOS電子シャッター
シャッタースピード	1/16000~1/2秒
外部インターフェース	
USB端子	Micro-USB端子 (付属のUC-E21以外のUSBケーブルは使わないでください)、Hi-Speed USB
HDMI出力端子	HDMIマイクロ端子 (Type D)
Wi-Fi (無線LAN)	
準拠規格	IEEE 802.11b/g (無線LAN標準プロトコル)
周波数範囲 (中心周波数)	2412~2462 MHz (1~11ch)
出力	9.73 dBm (EIRP)
認証方式	オープンシステム、WPA2-PSK
Bluetooth	
通信方式	Bluetooth標準規格 Ver.4.1
表示言語	日本語、英語
電源	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12 (リチウムイオン充電電池: 付属) ×1個 ACアダプター EH-62F (別売)
充電時間	約 3時間 (本体充電ACアダプター EH-73P使用時、残量のない状態からの充電時間)
電池寿命 ^{※1}	
静止画撮影時	約 250コマ (EN-EL12使用時)
動画撮影時 (実撮影電池寿命) ^{※2}	約 60分 (EN-EL12使用時)
三脚ネジ穴	1/4 (ISO 1222)
寸法 (幅×高さ×奥行き)	約 66.4×46.8×42.7 mm (レンズプロテクター AA-14B含む。突起部除く)

質量	約 134.5 g (レンズプロテクター AA-14B、電池、メモリーカード含む)
動作環境	
使用温度	-10℃～+40℃ (陸上)、0℃～40℃ (水中)
使用湿度	85%以下 (結露しないこと)
防水性能	JIS/IEC保護等級8 (IPX8)相当 (当社試験条件による) 水深10 m、60分までの撮影が可能
防じん性能	JIS/IEC保護等級6 (IP6X)相当 (当社試験条件による)
耐衝撃性能 ^{※3}	MIL-STD810F Method 516.5-Shockに準拠した当社試験条件 ^{※4} をクリアー

- 仕様データは、CIPA (カメラ映像機器工業会) の規格またはガイドラインに準拠しています。

- ※1 電池寿命は、SnapBridge 360/170 を使用していないときの値です。また、使用温度、撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などの使用状況によって異なります。
- ※2 画像モニターの上部に表示される動画の連続撮影可能時間 (1回の撮影で記録可能な時間) は、メモリーカードの残量によります。
カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあります。
- ※3 レンズプロテクターまたは水中用レンズプロテクター装着時。
- ※4 高さ200 cmから厚さ5 cmの合板に落下させます (落下衝撃部分の塗装剥離、変形など外観変化、防水性能は不問とします)。すべての条件での無破壊、無故障を保証するものではありません。

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12

形式	リチウムイオン充電電池
定格容量	DC 3.7 V、1050 mAh
使用温度	0℃～40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約 32×43.8×7.9 mm
質量	約 22.5 g

本体充電ACアダプター EH-73P

電源	AC 100–240 V、50/60 Hz、MAX 0.14 A
定格入力容量	12–18 VA
定格出力	DC 5.0 V、1.0 A
使用温度	0℃～40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約55×22×54 mm
質量	約51 g

製品に表示されている記号の意味は下記の通りです。

～ AC（交流）、≡ DC（直流）、回 クラスⅡ機器（二重絶縁構造）

リモコン ML-L6

電源	3V CR2032型 リチウム電池
Bluetooth	
通信方式	Bluetooth標準規格 Ver.4.1
周波数範囲（中心周波数）	2402～2480 MHz
出力	9.61 dBm（EIRP）
通信距離	約10 m
動作環境	
使用温度	–10℃～+40℃（陸上）
使用湿度	85%以下（結露しないこと）
防水性能	JIS/IEC保護等級7（IPX7）相当（当社試験条件による） 水深1 mに30分浸しても浸水しないことを確認しています。ただし、水中では使用できません。
寸法（幅×高さ×奥行き）	約 60.0×13.8×40.0 mm（突起部除く）
質量	約22.6 g（電池含む）

ベースアダプター AA-1B

寸法（幅×高さ×奥行き）	約63.5×54.5×46.0 mm（カメラ取り付けネジ含まず）
質量	約44 g
耐荷重	最大300 g

ベースマウント（平面） AA-2

寸法（幅×高さ×奥行き）	約40.0×12.5×49.2 mm（突起部除く）
質量	約10 g

ベースマウント（曲面） AA-3

寸法（幅×高さ×奥行き）	約40.0×12.5×49.2 mm（突起部除く）
質量	約9 g

レンズプロテクター AA-14B

寸法（直径×奥行き）	約38.0×12.5 mm
質量	約5.6 g

水中用レンズプロテクター AA-15B

寸法（幅×高さ×奥行き）	約53.0×39.8×14.0 mm（突起部除く）
質量	約20 g

- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

商標説明

- Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、株式会社ニコンはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- Apple®、App Store®、Appleロゴ、Mac、OS X、iPhone®、iPad®、iPod touch® およびiBooksは、Apple Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社 (<http://www.iphone.co.jp/>) のライセンスに基づき使用しています。
- AndroidとGoogle Playは、Google Inc.の商標または登録商標です。Android ロボットは、Googleが作成、提供しているコンテンツから複製または変更したもので、クリエイティブ・コモンズ 3.0表示ライセンスに記載の条件に従って使用しています。
- iOSの商標は、米国およびその他の国におけるCisco Systems, Inc.のライセンスに基づき使用しています。
- Adobe、Adobeロゴ、Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- microSDXC、microSDHC、microSDロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- HDMI**
- Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
 - Nマークは米国およびその他の国におけるNFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。
 - その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

“Made for iPod,” “Made for iPhone,” and “Made for iPad” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, iPhone, or iPad, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, iPhone, or iPad may affect wireless performance.

AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

- (i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）
- (ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

<http://www.mpegla.com>をご参照ください。

FreeType License (FreeType2)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2012 The FreeType Project (<http://www.freetype.org>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

MIT License (HarfBuzz)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2016 The HarfBuzz Project (<http://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

ニコンプラザのご案内

ニコンプラザは、ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコン映像製品の総合情報拠点です。お客さまのデジタルイメージングの世界を拡げ、写真文化の普及、向上に資するよう目指しています。

※ニコンプラザサービスセンターでは持ち込み修理の受け付けも行っています。

ニコンプラザ銀座

〒104-0061 東京都中央区銀座7-10-1 ストラータ ギンザ 1・2階

営業時間：10:30～18:30（年末年始、2月の第1土曜日とその翌日、8月の第2土曜日とその翌日を除く毎日）

ニコンプラザ新宿

〒163-1528 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー 28階

営業時間：10:30～18:30（年末年始、2月11日・12日、8月の第3日曜日とその翌日を除く毎日）

ニコンプラザ名古屋


〒461-0005 名古屋市中区東桜1-13-3 NHK名古屋放送センタービル2階

営業時間：10:30～18:30（日曜日、祝日、年末年始を除く毎日）


ニコンプラザ大阪

〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエスト・オフィスタワー 13階

営業時間：10:30～18:30（年末年始、2月の第3土曜日とその翌日、8月の第3土曜日とその翌日を除く毎日）

 ニコンプラザショールーム（銀座・新宿・名古屋・大阪）ナビダイヤル

0570-02-8080

 ニコンプラザサービスセンター（銀座・新宿・名古屋・大阪）ナビダイヤル

0570-02-8060

音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるニコンプラザをお選びください。

- ・ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ・ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター(03)6702-0577 におかけください。

補修用性能部品と修理可能期間について

補修用性能部品（機能維持に必要な部品）の保有期間内（製造打ち切り後5年を目安）を、修理可能期間とさせていただきます。なお、部品保有期間の経過後も修理できる場合もありますので、ニコンサービス機関、ご購入店または最寄りの販売店にお問い合わせください。また、水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、保有期間内であっても修理できません。この故障や破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

修理サービスのご案内

■修理のご依頼

ニコンサービス機関（修理センター、ニコンプラザサービスセンター）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。

- 修理センターについては以下で、ニコンプラザサービスセンターについては、前ページでご案内しています。
- 修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください（内蔵メモリーがあるカメラでは、メモリー内のデータが消去される場合があります）。
- 補修用性能部品と修理可能期間については、前ページをご覧ください。

■修理センター

株式会社ニコンイメージングジャパン修理センター

〒230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26

営業時間：9：30～18：00（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日）

- 修理センターでは、「ニコンピックアップサービス」などの宅配便のみをお受けします。
- ご来所の方の受付はございません。ご了承ください。



修理センターナビダイヤル

0570-02-8200

- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、カスタマーサポートセンター（03）6702-0577におかけください。

■ニコンピックアップサービス

梱包資材のお届け・修理センターへのお引き取り、修理後のお届け・集金までをニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）が一括して代行するサービスです。全国一律の料金にて承ります（大きさや重さには制限があり、取り扱いできない製品もあります）。

<インターネットでのお申込み>

<http://www.nikon-image.com/support/repair/>

「ニコンピックアップサービス」のお申し込み、見積もり金額やインターネットで申し込んだ修理の進捗状況や納期などの確認ができます。

<フリーダイヤルでのお申込み>



ニコンピックアップサービス専用フリーダイヤル（ヤマト運輸にて承ります）

0120-02-8155

営業時間：9：00～18：00（年末年始12/29～1/4を除く毎日）

製品の使い方に関するお問い合わせ

■ニコン カスタマーサポートセンター

営業時間：9：30～18：00（年末年始、夏期休業日等を除く毎日）



ニコン カスタマーサポートセンター ナビダイヤル

0570-02-8000

- ・ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ・ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03) 6702-0577 におかけください。
- ・ファクシミリは、(03) 5977-7499 にお送りください。

■お問い合わせ時のお願い

- ・おわかりになる範囲で「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、問題が発生した場合は「症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」などをご確認のうえ、お問い合わせください。
- ・ソフトウェアのトラブルは、おわかりになる範囲で「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OS名およびバージョン」、「CPU名およびメモリー容量」、「セキュリティーソフトウェア名」、「問題発生時の操作手順と症状」、エラーメッセージが表示されていたらメッセージ内容などをご確認のうえ、お問い合わせください。
- ・ファクシミリや郵送でのお問い合わせは、「ご住所」、「お名前（フリガナ）」、「電話番号」、「FAX番号」を（会社の場合は会社名と部署名も）明確にお書きください。

ニコンイメージング（ウェブサイト）/サポートページ

<http://www.nikon-image.com/support/>

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデート情報をご覧いただけます。製品をより有効にご利用いただくために、定期的なアクセスをおすすめします。

※修理に関するお問い合わせは、前ページの「修理サービスのご案内」もご参照ください。

株式会社 **ニコン**

株式会社 **ニコン イメージング ジャパン**

Printed in China

YP7D04(10)

6MQA0910-04

© 2016 Nikon Corporation